

環境に優しい サイディング・プレカット

株式会社シン・サク

サイディング・プレカットの必要性

1. 建設業界も、環境問題への取組みは避けて通れない。

現場環境、騒音、粉塵・産業廃棄物の問題

行政推奨循環型社会づくり、現場の美化

2. 職人の高齢化、職人不足は益々深刻

若手の施工者育成必要、現場の安全

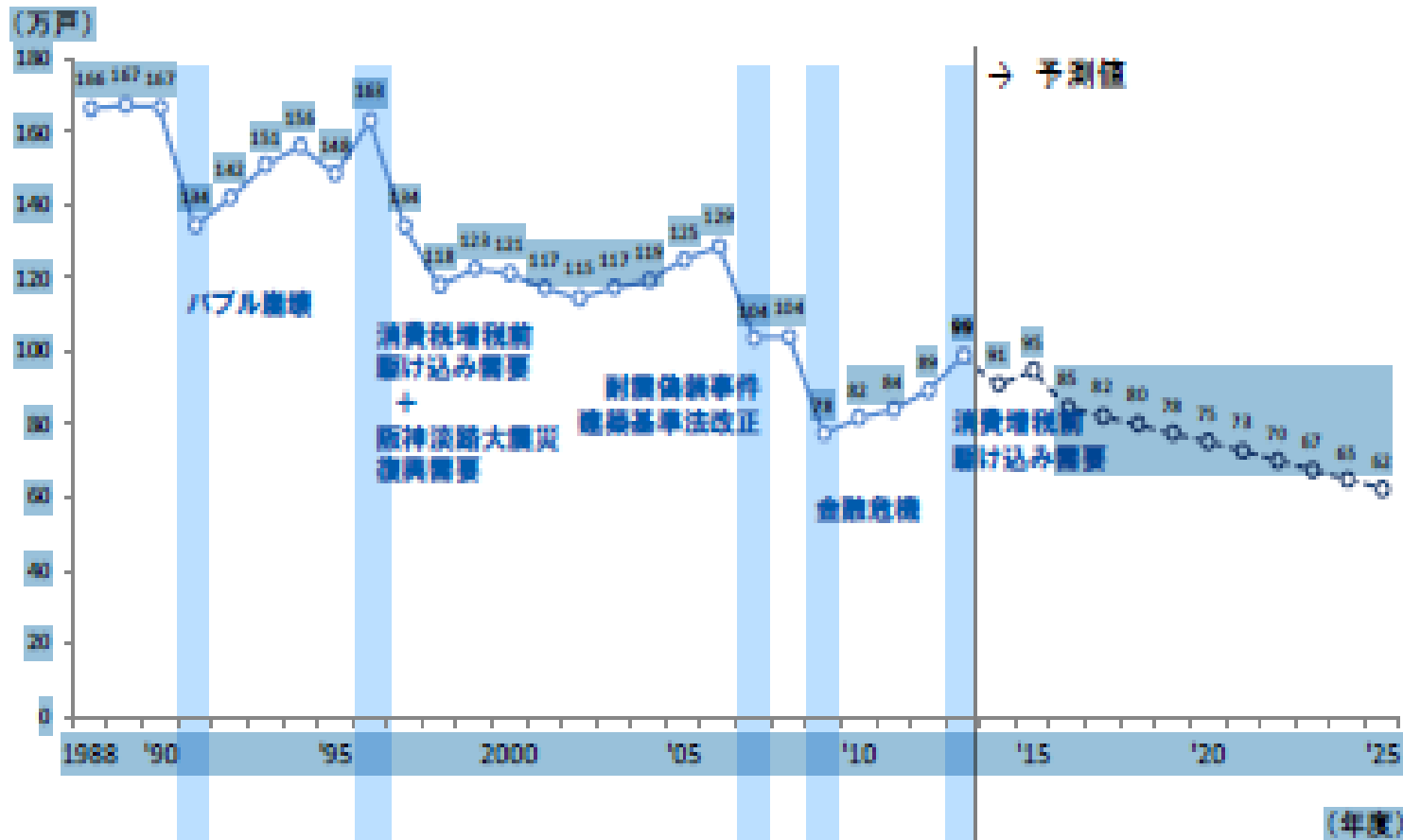
3. 今後、住宅着工の激減が予想されている。

* 新たなビジネス開拓を迫られている。

2. 新設住宅着工戸数・リフォーム市場の予測結果

新設住宅着工戸数は、今後数年間は90万戸前後で推移するが、
漸減し、2025年には62万戸になる見通し

新設住宅着工戸数の推移と予測

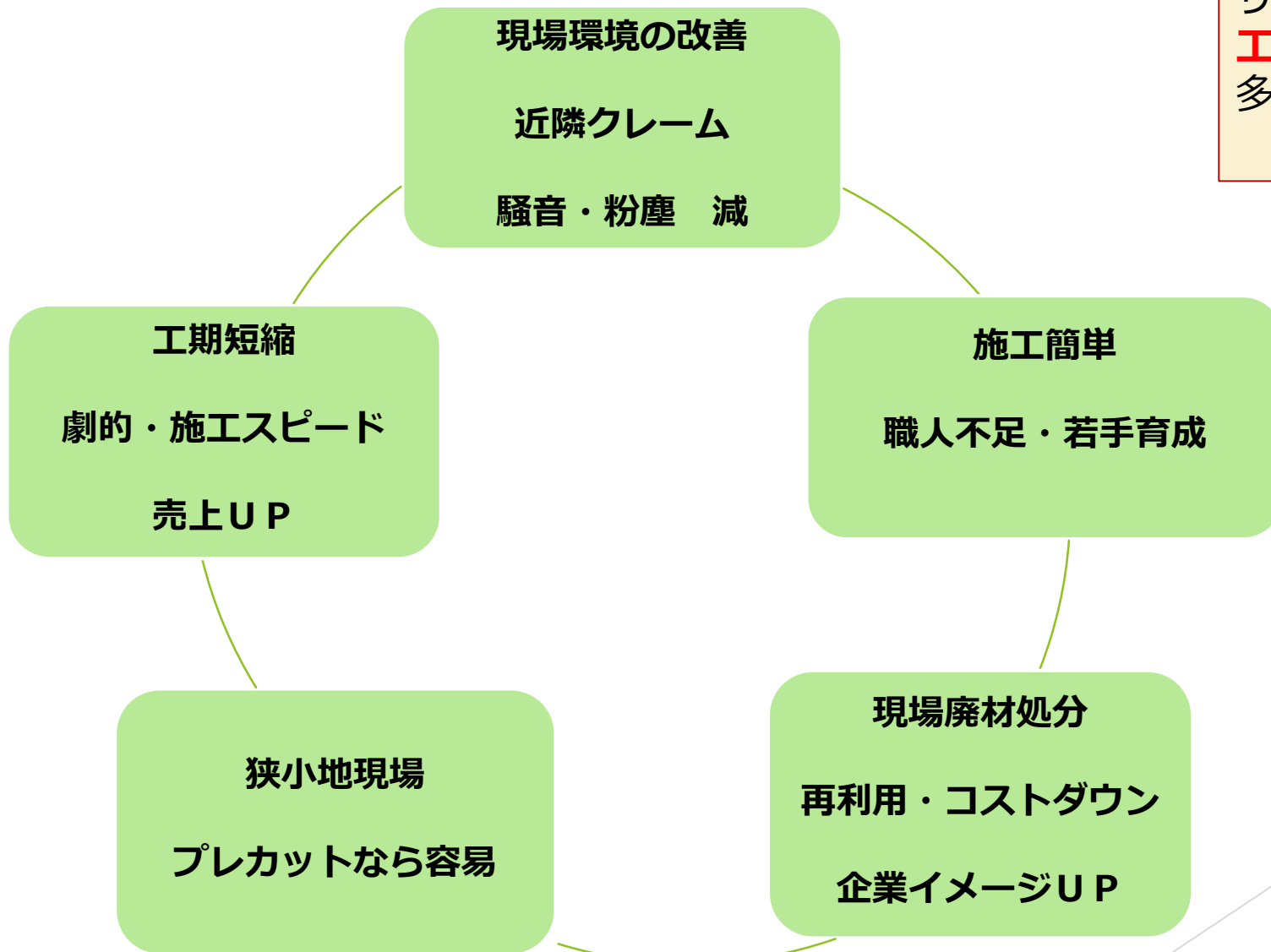


新築住宅着工予想

2015年	95万戸
2020年	76万戸
2025年	62万戸
2030年	53万戸
1996年の	1/3水準

住宅着工減に立ち向かうため
新たなビジネスの開拓を迫られています。

サイディングプレカット特徴・主なメリット



サイディング材を現場で切らずに
工場で切るだけで
多くのメリットが生まれます。

カット時の粉塵



新たな環境ビジネス・サイディングプレカット事業

< 会社様別の事業に取り組むメリット >

環境問題・人材不足等の社会貢献

		それぞれのメリット
住宅会社	様	環境問題への取組・現場美化 → 企業のイメージUP 廃材処分費の減額 ・ 仕上げ現場数増大 売上げ UP トータルのコストダウン可能 (出隅製作等)
建材店	様	新規ターゲット及び既存先へのご提案 外装工事(材販も含み) 受注、顧客、売上増
木材プレカット店	様	住宅着工減の受注・価格競争激化 → 新規事業へ取組み必須 住宅の外部工事一式受注提案 工場等の場所確保+運搬が容易 カット商品として納材 (材販事業)
外壁工事店	様	住宅会社のサイディングP化が進む。 同工法への取組必須 新規顧客増、売上増、他社との差別化 + キャパ増の売上UP 同業者への材販も可能。

サイディングプレカットの流れ

現場計測 1人で3~4時間



図面制作 3~5時間



工場プレカット



シンプルな梱包



施工順に積み込み



端材利用
同質出隅



プレカット現場



外壁プレカットの団地

